

様式1：筆頭発表者のCOI 申告書

発表演題に関連して、開示すべきCOI
関係にある企業等を項目ごとに記載す
る

(抄録登録時から遡って過去1年間以内のCOI状
態を申告)

項目	該当の 状況	有の場合、企業・団体名の記載
① 企業や営利を目的とした団体の役 員、顧問職などの有無と報酬額 (1つの企業・団体から年間100万円以上のものを記載)	(本人) 有 ・ 無	
	(親族) 有 ・ 無	
② 株の保有と、その株式から得られる 利益 (1つの企業の1年間の利益が100万円以上、あるい は当該株式の5%以上保有のものを記載)	(本人) 有 ・ 無	
	(親族) 有 ・ 無	
③ 企業や営利を目的とした団体から特 許使用料として支払われた報酬 (1つにつき年間100万円以上のものを記載)	(本人) 有 ・ 無	
	(親族) 有 ・ 無	
④ 企業や営利を目的とした団体より、 会議の出席(発表)に対し、研究者 を拘束した時間・労力に対して支払 われた日当、講演料など (1つの企業・団体からの年間合計50万円以上のもの を記載)	(本人) 有 ・ 無	
⑤ 企業や営利を目的とした団体がパン フレットなどの執筆に対して支払わ れた原稿料 (1つの企業・団体からの年間合計50万円以上のもの を記載)	(本人) 有 ・ 無	

<p>⑥ 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費（治験、委託受託研究、共同研究）など <small>（1つの企業・団体から支払われた総額が年間200万円以上のものを記載）</small></p>	<p>(本人) 有 ・ 無</p>	
<p>⑦ 企業や営利を目的とした団体が提供する奨学寄付金（奨励寄付金）などの有無 <small>（1つの企業・団体から支払われた総額が年間200万円以上のものを記載）</small></p>	<p>(本人) 有 ・ 無</p>	
<p>⑧ 企業や営利を目的とした団体が提供する寄附講座 <small>企業等からの寄附講座に所属している場合に記載</small></p>	<p>(本人) 有 ・ 無</p>	
<p>⑨ 研究、教育、診療とは無関係な旅行、贈答品など <small>1つの企業・団体から年間5万円以上のものを記載</small></p>	<p>(本人) 有 ・ 無</p>	

※(親族)・・・配偶者、一親等内の親族、または収入・財産を共有する者の申告事項

(本 COI 申告書は抄録登録後 2 年間保管されます)

(申告日) 年 月 日

セッション名
 または演題登録番号 _____

発表実績となる学会 _____

筆頭発表者 (所属) _____

(署名) _____ (印)

様式 1-A 自己申告による COI 報告書 (スライド例示)

<p>一般社団法人日本顎顔面補綴学会</p> <p>COI 開示</p> <p>〇〇大学 〇〇太郎</p> <p>演題発表に関連し、開示すべき COI関係にある企業などはありません。</p>

様式 1-B 自己申告による COI 報告書 (スライド例示)

<p>一般社団法人日本顎顔面補綴学会</p> <p>COI 開示</p> <p>〇〇大学 〇〇太郎</p> <p>演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある企業などは下記の通りです。</p> <p>①顧問： ②株保有・利益： ③特許使用料： ④会議出席等日当・講演料： 例；〇〇万円（〇〇〇株式会社） ⑤原稿料： ⑥受託研究・共同研究費： ⑦奨学寄付金： ⑧寄付講座所属： ⑨贈答品などの報酬：</p>
